



2021年1月29日

各 位

会 社 名 NEC ネットズエスアイ株式会社
 代表者名 代表取締役執行役員社長 牛島 祐之
 (コード番号 1973 東証第一部)
 問合せ先 経理部長 谷 祐輔
 (TEL 03-6699-7000)

2021年3月期通期連結業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年10月29日に公表いたしました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想および期末配当予想につきまして、下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日)連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年10月29日発表)	百万円 327,000	百万円 19,000	百万円 19,000	百万円 11,300	円 銭 75.88
今回修正予想(B)	333,000	22,000	22,000	13,500	90.65
増減額(B-A)	6,000	3,000	3,000	2,200	—
増減率(%)	1.8	15.8	15.8	19.5	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	303,616	16,245	15,938	9,422	63.28

(注)当社は、2020年6月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。なお、「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割を考慮して算定しております。

(2) 業績予想修正の理由について

当社の事業領域におきましては、企業向け分野では、新型コロナウイルス感染症終息の見通しがつかない中、テレワークを中心としたDX/働き方改革分野の需要拡大が引き続き見込まれますが、お客様企業における不要不急のICT投資の抑制・先送りが顕在化しております。一方、通信事業者向け分野では、5Gに向けたマイグレーションが動きつつあり、設備投資は堅調に推移するものと予想され、また、官庁・自治体、公益関連においては、GIGAスクール案件の構築本格化が見込まれます。

以上のような環境下、2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間までの進捗を鑑み、売上高は3,330億円、営業利益および経常利益は220億円、親会社株主に帰属する当期純利益は135億円と、それぞれ上方修正いたします。新型コロナウイルス感染症長期化によるICT投資抑制への影響拡大は懸念されますが、DX技術を活用したニューノーマル時代の新しい働き方の提案や通信事業者向け事業の拡大、受注したGIGAスクール案件の遂行に



注力してまいります。

2. 配当予想

(1) 2021年3月期期末配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2020年10月29日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 14.00	円 銭 28.00
今回修正予想	—	—	—	15.00	29.00
当期実績	—	14.00	—		
前期実績 (2020年3月期)	—	13.33	—	14.00	27.33

(注)当社は、2020年6月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。なお、2020年3月期については、当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 配当予想修正の理由について

当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営における最重要事項の一つと位置付けており、経営基盤の強化、財務体質の充実、収益力の向上に努めております。利益配分につきましては、今後の注力分野拡大に向けたM&Aや事業基盤の強化、新事業の創造などの戦略的投資の加速による成長を通じた企業価値拡大を重視しつつ、株主の皆様の期待に一層応える利益配分も行っていく考えであります。

このような考えの下、2021年3月期における1株当たりの配当につきましては、前述の業績予想の修正を受け、1円の期末配当増額修正を行い、通期で1株当たり29円の配当とすることにいたしました。

以 上